

ロック機構付き大型引き戸 (オプション)

使用上の注意

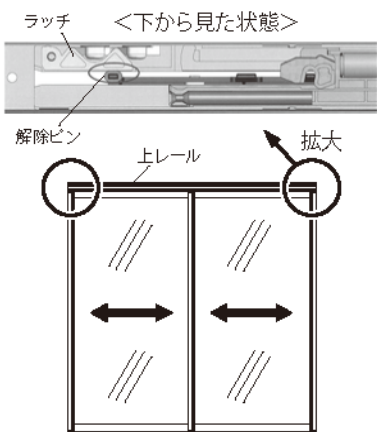
⚠️ 注意

- 地震のあと、傾きが正常に戻れば引き戸を開めることでロックが解除されます。
- 本体をむやみに取り外したり分解しないでください。正常に作動しなくなる恐れがあります。
- ロック機構は収納物の破損を防止するものではありません。
- 引き戸を閉めた直後にあけると、わずかな振動でロック機構が作動する場合があります。引き戸はゆっくり開閉してください。
- 本体の間に手などを挟まないでください。ケガをする恐れがあります。
- キャビネットの設置状況や振動などの状況によっては、性能を十分に発揮できない場合があります。

使い方

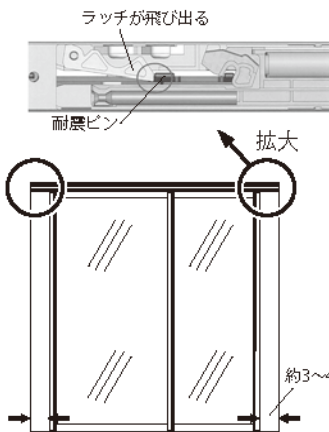
※キャビネットの設置状態、収納物の形状や地震の規模、揺れ方によっては、ロック機構が働かない場合があります。

ロック機構の働き (注:通常の使用時においては、ロックは作動しません)



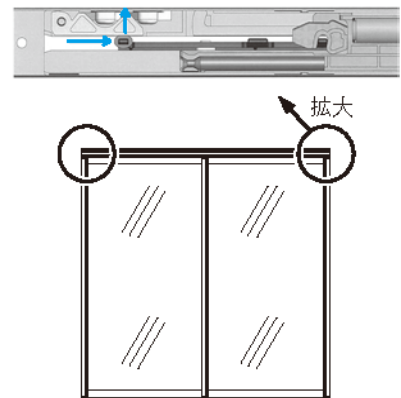
通常時

- ラッチが本体より出てきませんので引き戸の開閉に支障はありません。
- ※ロック機構本体は上レールの中に入っています。



地震のとき

- 地震などの揺れを感知するとロック機構が作動し、飛び出したラッチが耐震ピンに引っ掛かり、引き戸が開放するのを防ぎます。ただし、ロック機構作動時も約3~4cmほど引き戸は開きます。



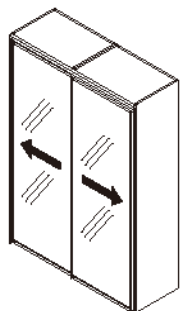
揺れが収まったとき

- 地震の揺れが収まって静止状態になるとダンパーの引き込み機能によりロックが解除されます。引き戸が開いている場合は閉まるまで押してください。キャビネット中の状態を確認しながら静かに引き戸を開けてください。

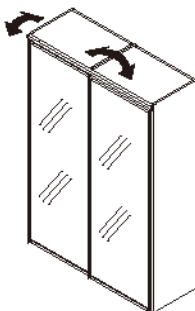
ロック誤作動時の解除方法 (注:通常の使用時においては、この方法を行う必要はありません)

万一、引き戸がロック状態になり開かなくなったときは、下記の方法で強制解除を行ってください。

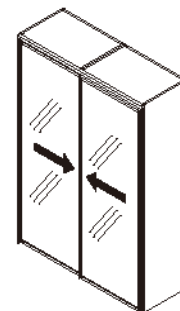
※収納物の飛び出しにご注意ください。



・引き戸を確実に閉めてください



・傾きがない
グラつきがない
確認



・静かに開けてください

- 引き戸を確実に閉めてください。そうすることにより解除ピンがラッチを抑えこむのでロックが解除されます。ロック機構は、2度以上の傾きがあると作動する場合があります。解除後、キャビネットの傾きやグラつきがないことと、レール及び本体が水平になっていることを確認し、問題がある場合は修正してください。それでも誤作動が起きる場合は新しい物と交換してください。